

校内研究だより 第4号

南関第三小学校
令和6年11月14日
研究主任：福永隆智

【研究主題】

粘り強く課題解決に取り組む児童の育成
～書く力を高める国語科学習を通して～

【目指す資質・能力】

協力する力・考える力・やり抜く力

11月8日（金）第5校時、石田先生が、3年国語科の研究授業を行いました。

○単元名「れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう」

『すがたをかえる大豆』『食べ物のみみつを教えます』（光村図書3年下）

	 <p>例の順序の技があります。</p>	
① ゴールやめあての確認に、勢いよく手を挙げています。	② 筆者の工夫について発表しています。	③ 組み立てメモに、つながり言葉が書いてあります。
		
④ 食品の絵もありました。	⑤ 組み立てメモを作る時に気をつけることです。	⑥ 付箋紙を選んで、組み立てメモを作ります。
		
⑦ グループで相談しています。	⑧ お散歩タイムで、他のグループに聞きに行きました。	⑨ 振り返りの発表に対して、返しの言葉を言いました。

★共通実践事項

○タブレットの活用と指示棒の活用

◎先生方の授業後の感想

3年生のみんなが、授業の始まりから、とても元気で、それだけのやる気を引き出されている先生が、本当にすごいなと思いました。発表が苦手な子も、支援が必要な子も、手を挙げ、一生懸命考える姿が印象的でした。準備から大変だったと思いますが、先生が「いろんなことを学べてよかったです。」と言われたのを聞いて、子どもたちのために、これだけ熱心に授業づくりに向かわれる先生と学習できる子どもたちがうらやましいなと思いました。（轟恵子）

どの児童も一生懸命授業に参加し、はつらつとしていて、先生が日頃から学習規律をしっかりと身につけさせていらっしやることが伝わってきました。カードを活用して、書き方のポイントを押さえられたり、ワークシートも一貫して同じ形式にすることにより、児童がとまどうことなく書くことができるように工夫されたりと、たくさんのわざを教えてくださいました。(松永楓花)

授業研究会

◎自評 (石田)

- ・何も分からないところからスタートし、教頭先生から学習の流れを教えてください、高山先生から助言をいただいた。昨日、小柳先生に授業を見ていただいた。
- ・児童は、張り切って頑張っていた。グループ分けをして良かった。3人でしっかり考えていた。

◎質疑応答

Q：構成に必要な技の切実感はどれくらいあったのか。

A：「すがたをかえる大豆」で押さえていた。「はじめ・中・終わり」の理解はできていた。つなぎ言葉は理解しているが、使えるかは疑問。

Q：この授業で、どこまでねらっていたのか。

A：工夫が書けていたらOK。つなぎ言葉を書けたら、なおいいなあと思っていた。

Q：例を3つにした理由は何か。

A：教科書が3つだったので、そうした。実際に書くときは5つまでとする。

Q：緑の付箋紙(工夫)を並べる順番は？

A：食品になるまでの時間。

◎グループ協議で出た意見

- ・グループトークでは、進行役がいるとよかった。「何でこの順番にしたの？」と質問させるといいのでは。
- ・1人で組み立てるのは難しいので、話し合う時間を設けるとよい。お散歩タイムは有効だった。
- ・悩んでいる児童を発表させると、全体で知恵を出し合うことになって、よかったのではないかな。
- ・食品の製法について知らないもので、事前に動画などを見せれば、順序を考えるのに役立ったのではないかな。
- ・「じゅんじょのわざ」を、さなさんの組み立てメモを見せて、本時で徹底しておく。
- ・「OOわざ」を学校で系統立てて指導する。
- ・一人学びの時間の確保。交流後、もう一度考える。
- ・ICT活用。付箋紙をスカイメニューで使うとよい。

◎指導力向上アドバイザーの高山裕子先生から、指導助言をいただきました。

- ・熊本の学び…「子供主体」の「子供が学びとる」授業へ
- ・単元のゴールの姿を明確に。
- ・単元名に立ち戻る。単元名から学習計画を立てる。
- ・説明文の書き方の技＝交流するときの観点＝出来上がった本を読むときの技 この連続性を教師が意識し、学習を進めることが大切。
- ・構造的な板書
- ・グループトークの良い例を紹介するとよい。
- ・国語の授業…言葉を大事にする。言葉を指す。線を引く。
- ・学び合いが成立するために ①友達の名前を言う。 ②前置き発言で、積極的な聞き手をつくる。 ③教師の話は短く。
- ・書くことが好きになるために、ほめる。

☆テンポが良く、子どもたちが学びに向かう姿が素敵でした。どんな作品ができるか楽しみです。